










Ⅲ 事業所での取組み例

ごみ減量・リサイクルを実践する際に以下のポイントを確認してみましょう

- ポイント1  社内の廃棄物処理の実情を調べ、自分の事業所に合った取組みを行う
- ポイント2  廃棄物の管理責任者を決める
- ポイント3  廃棄物の減量化とリサイクルは効果の大きいものから始める
- ポイント4  廃棄物分別回収システムの確立に向けた社内全体での取組みを行う
- ポイント5  表彰制度や提案システムを設ける
- ポイント6  社内で不用品の販売や交換などを行う
- ポイント7  リサイクル原料・製品などの継続的な購入をする
- ポイント8  製品を生産する際は減量化とリサイクルに考慮する
- ポイント9  地域社会と協力した活動を行う

ごみ減量推進事業所やエコショップ(P29参照)などで実際に取組みを行っている事例を紹介します。ごみ減量・リサイクルに取り組んでみませんか。

①減量に関すること

☆過剰包装の自粛

二重包装の廃止や簡易包装に心がける

☆量り売りの積極的な推進

精肉・鮮魚・野菜・果物・酒類等の量り売りやバラ売りをする

☆買物袋(マイバック)持参の推奨

買物袋持参者には特典を与える。買物袋の販売を行う

☆詰め替え商品の販売・促進

洗剤・シャンプー等の詰め替え商品の販売や、使い捨て商品の販売自粛を行う

☆その他

ミスコピー紙などの紙のうち使えるものは両面使う(紙の使用量は半分になります)

封筒類は何度でも使用する(裏返しても使えます)

メモ用紙は使用済み用紙の裏面などを使う

情報は共有・一元化する(全ての書類を全員で保管する必要はありません)

パソコンを活用し、ペーパーレス化に心がける(電子回覧など)

